

勉強に友達が必要か？

宮城県仙台第三高等学校 普6班

1. 背景と目的

学校と塾の学習環境においての大きな違いは友達がいるかないかであると考えた。そこで、三高の授業の特徴であるペアワークは、授業にどのような影響を与えているのか気になったため、テーマを設定した。英語コミュニケーションの授業に焦点を当てたのは、英語は一つの言語でありこの先の人生で最もになる授業であると考えたためである。

目的：三高の英語(コミュニケーション英語の授業)におけるペアワークの必要性和最適な形を見つける



仮説：友達がいると英語の学習意欲が向上する。

2. 方法

ペアワーク、グループワークに対する現状の生徒の考え方をを知るためにアンケートを行った。

アンケート① 2学年生徒 (n=65)

- * ペアワークは必要か？
- * 何分が最適？
- * グループワークは必要か？、何人が最適？
- * 何分が最適？
- * ペアワークはどんな人とすると学びが深まる？

結果

ほとんどの生徒がペア、グループワークともに必要性を感じている

考察

ペアワークの相手により学びに偏りが出てしまうのでは？
→ ペアワークの相手は仲の良さ、学力が近い人など、何を基準に選ぶべきなのか

3. 仮説の見直し

「友達が必要か」というテーマに合っている、ペアワークのみに着目することにした。そこで、より研究対象を絞るために仮説の見直しを行った。

仮説：英語が苦手な人は授業を苦に感じている。ペアワークが楽しく安心して行えるようになれば、そのような人でも以前より授業に主体的に取り組めるようになる。

4. 方法2

楽しく安心して行えるペアワークを設定するために先生目線生徒目線それぞれのコミュニケーション英語の授業について知る必要があると考えた。

アンケート② 2学年生徒 (n=67)

- * コミュニケーション英語の授業は満足するものですか。
- * どのようになれば満足できると思いますか。
- * コミュニケーション英語の授業のペアワークは楽しいですか。
- * どんなときにそう思いますか。
- * コミュニケーション授業に主体的に取り組めてますか。
- * どんなときにそう思いますか。
- * ペアワークで気まづくなったらどう切り抜けますか。

インタビュー 2学年英語科教員 (n=5)

- * ペアワークの目的と理想の形
- * ペアワークの相手は大切だと思うか。
- * ペアワークがうまく進んでいないペアに対してどう接するか (気まづそうにしているペアを見つけたときの対応)。
- * 生徒を楽しませる、意欲的にさせるためにどのような工夫をしているか。



結果

- ・気まづい時、今の先生の対応では乗り越えられていない。
- ・ペアワークの相手は大事だが誰でもできるようにというのがペアワークのポイント
- ・ペアワーク楽しいと感じている人とともに満足している人、主体的に取り組んでいる人の割合が過半数を超えている。理由としてもペアワークでうまく話せた時に満足感、主体的に取り組めると感じるという回答が多く見られた

5. 考察

- ・相手の工夫は必要性はあまりない
- ・授業の満足度にペアワークの楽しさすなわち友達との勉強が関係している
→ 授業のペアワークの視点から考えると、勉強に友達が必要

展望

中間発表や外部発表を通して、ペアワークをすることは受験勉強にも必要なのではないかと考えた。これまでの私達の探求だけでは、判断しかねるため、後輩たちにはこのテーマを受け継いでほしいと考えている。

参考文献

- 1) ペア学習におけるペアの繋がりを与える影響と効果一名古屋工業大学
- 2) 小学校における協同学習が学習意欲に及ぼす影響に関する実証的研究
友人との学習活動における自律的な動機づけの役割に関する研究